

## 厚生病院の最近の取り組み

H30.11.1 厚生病院

## 【運営方針】

- 地域連携を推進し集患力を強化するとともに、紹介患者中心の医療を提供していく。
- 入院診療を中心とした質の高い急性期医療を提供していく。
- 地域の中核病院として、中部圏域において救急医療と一部の高度な医療を含めた標準医療を提供する。
- 医療安全体制の強化、接遇改善により患者サービスを向上させる。
- 医師、看護師、薬剤師ほか各職種の確保と人材育成に取り組む。

## I 地域連携の推進

- 地域医療支援病院の名称使用を 6 月 18 日付けで承認された。
  - ・ 9 月時点では、紹介率 70%、逆紹介率 80%まで伸ばしている。
- 他病院・診療所、介護施設との継続的な情報交換による連携関係の強化を図る。
  - ・ 特別養護老人ホーム及び老人保健施設の訪問を行った。
  - ・ 歯科との連携により、周術期、化学療法前後の歯科診療を進めている。

## II 入院診療を中心とした質の高い急性期医療

- 看護補助体制や医師事務作業補助体制を整えるなど、質の高い医療の提供に努めている。
  - ・ 新たに抗菌薬適正使用、後発医薬品使用体制の施設基準を取得した。

## III 医療安全体制の強化、接遇改善

- 医療安全対策室を中心とした患者対応体制を強化している。(患者相談窓口を医療安全対策室に移管)
- 入退院支援センター設置により、入院手続きの一元化を中心に入院前から退院までの患者支援を行う。
- 患者サービス改善委員会を中心に接遇研修を実施し、職員の接遇向上を図っている。

## IV 人材確保と人材育成

- 29 年 6 月に設置した臨床研修・教育センターにより、臨床研修医、医療技術職員の確保に向け、学生実習、病院見学の積極的な受け入れを行う。
  - ・ 研修医及び後期研修医 6 名を受け入れ (平成 30 年 4 月から)
  - ・ 昨年に引き続き厚生病院オープンホスピタルを開催 (平成 30 年 6 月 16 日：看護学生 45 名、高校生 99 名参加)

- 薬剤師は来年度定数確保の見込みとなった。
  - ・6月に実施した採用試験で4名の合格者
- 看護師確保は、一層取り組みを進める。
  - ・看護学校訪問、サマーセミナー、インターンシップ、高校生の一日看護体験を実施
  - ・新たに院内就職ガイダンスを学校単位で実施（平成30年6月9、11日）
- 職場参観日を実施し、新規採用職員をはじめ職員の職場定着及び離職防止を促す。（平成30年10月28日）

## V 経営改善

- 診療単価アップを図るため新たな施設基準の取得を進め、今年度はこれまで地域医療支援病院入院診療加算、医療安全対策地域連携加算Ⅰなどを取得したほか、今後、認知症ケア加算（ⅡからⅠ）の取得を予定している。
- 来年度の医薬品及び診療材料SPD事業者の更新に向け、中央病院と連携し共同購入によるコスト削減を進める。
- 保守料の適正化によるランニングコストの見直しを行う。
- 全職員のコスト意識を変革する。